



中野市の歴史と文化に触れる (仮称) 山田家資料館

庭園



奥座敷



新座敷

山田家のあらまし

山田庄左衛門家の先祖は戦国浪人と伝えられ、元和年間(1615〜24年)に江部村(現在の中野市江部)に來住したといわれています。

3代目が初めて「庄左衛門」を名乗り、大量の田畑を集め、穀物売買や酒造業を営みました。

7代庄左衛門顕孝は文人「松齋」の号で知られ、『經典穀名考』などの著作を残すとともに、江戸や京都のさまざまな文人たちと交流しています。

幕末には、幕府領中野代官所の金融に関与し、千曲川瀬直し問題にも深く関わります。

明治以降は地域の公職を歴任し、12代庄左衛門は貴族院

議員・衆議院議員などを務めました。

明治以降における山田家の経済活動は、土地の集積から横浜生糸貿易・証券投資・銀行経営に向かっていきます。

(仮称)山田家資料館の概要

平成20(2008)年に

山田家の土地・建造物、歴史資料が市に寄贈されました。

敷地面積は3970平方メートル(約1200坪)で、土蔵な

どの建造物、庭園、古文書(約1万4000点)をはじめ、

めとする歴史資料を収蔵し、市民に公開する施設が(仮称)山田家資料館です。

現在、美術工芸品、絵画、生活用具、民具などについて

も調査を進めており、これらについては、今後報告書を刊

行していく予定です。

家屋敷 敷地面積3970平方メートル(約1200坪)

建造物群 質蔵・文庫蔵、隅の蔵、裏門、六間蔵・二間蔵、表門、母屋、奥座敷、新座敷

庭園 江戸時代後期のものと思われ

収蔵資料

○古文書『東江部村山田庄左衛門家文書目録』(全3冊・1万3788点掲載)

○典籍類・美術工芸品など

※このほか、家具・供膳具・食器・衣類・農具・酒造道具などを収蔵

具などを収蔵

資料館の見どころ

母屋は昭和47(1972)年に建てられ、館内に収蔵資料を展示する展示室があります。

山田家の敷地を取り囲むように建っている土蔵群は、いずれも江戸時代後期から明治にかけて建造されたものです。

質蔵・文庫蔵は嘉永元(1848)年、六間蔵・二間蔵は明治13(1880)年の建造です。裏門は、かつて飯山城の城門であったものを移築したとの伝承があります。



資料館正面



六間蔵



裏門



展示室



展示品

庭園は、江戸時代後期に作庭されたと考えられ、庭園を一望できる奥座敷は、明治時代、東京から大工が来て建てたと伝わっています。

利用案内

所在地 中野市大字江部46番地3
開館時間 午前9時～午後5時
休館日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）
入館料 無料

資料閲覧

教育委員会が発行した『東江部村山田庄左衛門家文書目録』（全3冊）に掲載されている古文書を閲覧することができます。

利用方法など詳細はお問い合わせください。

特別展・講演会の開催

（仮称）山田家資料館では、特別展や講演会を開催しています。

今回は、幕末に江戸から信州に下り、山田家の女子教育に当たった岩井貞（貞子）という女性の生涯とともに、明

治期の学校制度の成立と娘たちの学業について紹介します。

特別展

テーマ 激動の幕末から明治を生きた女性

期日 6月1日(土)～30日(日)
※期間中は毎日開館
時間 午前9時～午後5時
会場 （仮称）山田家資料館展示室
※5月27日(月)～31日(金)、7月1日(月)～5日(金)は展示替えのため休館します。

講演会

テーマ 「女流歌人岩井貞子の生涯」

※事前に申し込みが必要です。
期日 6月22日(土)
時間 午後2時
講師 樋口和雄さん（木島平村教育委員会文化財調査専門幹）

会場 （仮称）山田家資料館六間蔵

問い合わせ・申し込み先
（仮称）山田家資料館

☎(23)2955
教育委員会事務局生涯学習課文化財係（豊田支所内）
☎(38)3112（内線542）